

8月24日

10:00	11:00	11:30	12:30	14:00	15:00	15:30	16:30
<p>[基調講演] 片想いから両想いへ ～使い手と作り手をつなぐトリセツのかたち～</p> <p>原 研哉 グラフィックデザイナー、武蔵野美術大学教授、日本デザインセンター代表</p> <p>山中 俊治 デザイナー、慶應義塾大学教授</p>				パ01 情報ライブ感 ～ネット社会の“いま”と、マニュアルの“これから”を考える～			
				パ02 「オープン」の概念が翻訳を進化させる ～仕事の仕方はひとつじゃないー 翻訳の新たな選択肢～			
				パ03 欧州向けマニュアルを語る ～欧州ユーザーの傾向は？マニュアルはマーケティングツールになり得るか？～			
				パ04 使用説明情報とユーザーを最適に結び付けるUIを考える ～ Web技術 (HTML、Flashなど) で構築されるUIを中心に～			
				発01 3か所? 3ヶ所? 数助詞の「ka」を正しく表記していますか?		協01 TC専門教育カリキュラム・ガイドライン <中間報告>	
				発02 大学におけるTC教育事例と課題 ～制作現場における教育の観点から～		発04 読みやすく、わかりやすい文字を認知科学的に分析	
				商01 企業向けオーサリングソフト「easy driver」の紹介		商02 acrolinx IQ での用語管理と欧米での活用事例	
						商03 過去資産を生かす日英ライティング支援ツールのご紹介	
				特03 これからのテクニカルイラストはこう変わる! ～他メディア展開に通用するテクニカルイラストレーションを目指して～			
特04 ユーザビリティとマニュアルの品質評価							
特05 メディア・ユニバーサル・デザインの実践 ～必要な情報をより多くの方へ正しく伝えるために～							

8月25日

10:00	11:00	11:30	12:30	14:00	15:00	15:30	16:30
パ05 OJT連動型教育プログラムへの提言 ～OJTの効果を高める秘策を探る～				パ09 新企画 しゃべり場! なりたい自分が見えますか? ～未来に羽ばたく若きテクニカルコミュニケーターたちへ～			
パ06 テキストマイニングや最新検索技術を製品情報発信に活用する				パ10 理系くんが書くマニュアルが読みづらい!?			
パ07 マニュアル制作のプロセス改革! ～新しい枠組みによる、これからのマニュアル制作を考える～				パ11 英文翻訳の品質を向上させる～品質問題とその具体的解決法～			
パ08 コンテキストライティングとトピックライティング ～ライティングの進化に対応する～				パ12 これからの紙マニュアル～過去、現在から今後の紙マニュアルを考える～			
協02 EU機械指令 2006/42/ECの改訂を徹底解説!				協03 スマートフォン・携帯・電子書籍端末は、取扱情報をどう変えるか?			
発05 日中翻訳の品質向上を目的に作成した「日中翻訳品質基準」の開発		発06 TC技術と人間中心設計アプローチ		協4 TCの視点から見たDITA			
		発07 日本語書き言葉の公共性について ～取扱説明書分析による事例報告～		発08 TCビジネスの今後の可能性について		発09 ペルソナのユースケースに基づいたマニュアル制作事例	
商04 InDesign CS5がもたらすリッチコンテンツ制作の革新!		商06 Illustrator CS5がもたらすテクニカルイラストレーションの革新!					
商05 高品質なテクニカルイラスト作成の自動化 — Arbortext IsoDraw		商07 InDesignでもFrameMaker並のTRADOS連携&自動組版を実現!		商08 ドキュメント制作をシームレスに支援するクラウドサービス「odomasyl」		商09 あのSDL Trados Studio 2009がさらにパワーアップ!	
特06 使用説明とコンプライアンス ～関連する法規・制度を理解して記載漏れを防ぐ～				特08 テクニカルコミュニケーターのためのロジカルシンキング入門 ～論理的に考える力を鍛えよう～			
特07 インフォメーションデザイン ～テクニカルコミュニケーターが身につけたい情報のビジュアル化～				特09 Webメディアの能力を活かすアクセシビリティ対応 ～ JIS X 8341-3の改正概要と実装～			